

小野町デジタル目安箱に寄せられた提案・意見と町からの回答(令和8年3月分)

No.1

月 日	3月6日
提案・意見	<p>はじめまして、私は小野町の近隣在住の者で、よく買い物で利用させて頂いている小野町の活性化に関心を持っております。町の公式ホームページを拝見し、デジタル目安箱を利用して意見を述べさせていただきます。</p> <p>最近、石川町の廃校活用施設「ひとくらす」(福島県石川郡石川町大字中田字八又396-1)内に、雑貨店「hodos」(ホドズ)がオープンしたことを知りました。この店舗は、古着や古食器、駄菓子、クラフト作品などを扱うアパレル・雑貨店で、廃校の一室(Room C)をリノベーションして営業しているようです。？そして、この店舗を経営しているのが、小野町の地域おこし協力隊員であるという情報を耳にしました。</p> <p>ここで疑問に思う点がいくつかあります。まず、なぜ小野町内で店舗を出店せず、石川町を選んだのでしょうか。施設の関係者に話を伺ったところ、「小野町では借りられる空き店舗がない」という経緯があったそうです。小野町には小野新町中通に閉店した店舗が多くあり、静かな雰囲気ではありますが、空き物件が存在するように見えます。また、おのタウンコムコム(おのショッピングプラザ・コムコム)にも空きスペースや建物があるはずですが。調べてみたところ、町として「空き店舗対策支援事業」を実施しており、家賃補助や開店準備支援を提供しているにもかかわらず、なぜこうした町内の物件を活用し、隊員の事業を町おこしに寄与させないのでしょうか。</p> <p>さらに、協力隊員は小野町の予算(税金を含む)で雇用されているはずですが。町外出店の場合、直接的な補助金(小野町地域おこし協力隊起業支援補助金)は町内限定のため使えないとのことですが、任期中の給与や活動費が間接的に町外の経済活動(石川町の店舗運営)に使われている形になり、結果として小野町の税金が石川町の経済に間接的に寄与しているように感じます。もちろん、近隣町との連携は地域全体の活性化につながるポジティブな側面もありますが、まずは自町内の賑わい創出を優先すべきではないでしょうか。</p> <p>町として、協力隊員の事業を町内に誘導するための具体的な取り組み(物件マッチングの強化、所有者との交渉支援、空き店舗情報の積極的な共有など)はどのようになっているのでしょうか。また、こうした町外出店のケースに対する方針や、町内起業を促進するための改善策をお聞かせいただけますか。町の活性化に真剣に取り組まれていることとは存じますが、町の考えを伺いたいと思います。</p> <p>ご検討のほど、よろしくお願いいたします。</p>
町からの回答	<p>この度は、小野町の「デジタル目安箱」へ貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本町の活性化に対し深い関心をお寄せいただいておりますこと、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>ご質問いただきました「小野町地域おこし協力隊員の事業支援に関する疑問と提案」について回答いたします。</p>

	<p>当町では「地域おこし協力隊起業支援補助金」、「空き店舗対策支援事業」等を通じて、町内での起業や町内事業所への就職を含め推進しておりますが、最終的には活動拠点選びも含め隊員自身の意思を尊重しております。</p> <p>空き物件につきましては、ご指摘のとおり、町内には空き物件が散見されますが、その多くが所有者様のご意向(仏壇や家財の残置、将来的な親族の利用予定など)や、希望する業態との条件不一致(店舗兼住居など)により、活用可能な物件として結びつかないケースが多々あるのが現状の課題です。</p> <p>当該隊員につきましても、町内での物件確保を模索いたしましたが、希望する間取りや店舗形態、場所など希望する物件とのマッチングに至らず、近隣自治体の既存施設を活用する運びとなりました。</p> <p>今般の町外での店舗運営に関しましては、施設家賃の支払いなど間接的に町外での経済活動に使われている形になるかもしれませんが、隊員が小野町を拠点に活動し、情報発信や人的ネットワークの構築を行うことで、広域的な誘客や当町の認知度向上に繋がるものと考えております。</p> <p>今後は、ご提言を真摯に受け止め、流通していない潜在的な空き店舗の所有者に対し、利活用の意向調査や継続的な働きかけ、任期中から町内事業者や不動産所有者との接点を増やし、町内での定住・起業が円滑に進むよう伴走型支援を強化できればと考えております。また、近隣自治体との連携は重要ですが、まずは町内への波及効果を創出できるよう努め、隊員の自由な発想や活力を最大限に活かしつつ、それが町内経済の活性化に結びつくよう、引き続き支援のあり方を検討してまいります。</p> <p>今後とも、小野町の町政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
--	--

No.2

月 日	3月15日
提案・意見	<p>最近、空き家が目立ってきてるので空き家をリホームしてアニメイト(シール、チビぬい、本、漫画、キーホルダーなど)兼ジャニーズのグッズを売っているお店(CD、DVD、雑誌、うちわ、アクスタ、カードなど)を作って欲しいです</p> <p>今はアニメがすごく流行っているのでアニメイト兼ジャニーズのグッズを売っているお店を作る事でアニメオタクの方にとってはすごく有難いと思うし、ジャニーズのファンの方も一定数いて、小野町は自然豊かなので写真映もしやすいし、写真映することによって観光客も増え小野町の知名度が上がり、小野町に移住する人も増え、空き家も減るので一石二鳥だと思うのでぜひ作って欲しいです</p>
町からの回答	<p>この度は、本町の空き家対策および地域振興に関する貴重なご提言をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ご提言の「アニメやアイドル文化を軸とした空き家の利活用と観光振興」というアイデアは、現代の多様なニーズを捉えた大変興味深い視点であると拝察いたします。当町においても、空き家問題の解決と交流人口の拡大は大変重要な課題であり、これらを一体的に推進していくことは不可欠な視点です。</p>

	<p>アニメや「押し活」をテーマとした拠点創出は、若年層をはじめとする新たな層の呼び込みや、SNS 等を通じた知名度向上、さらには将来的な移住定住の促進にもつながる、大きな可能性を秘めたものと受け止めております。</p> <p>一方で、行政の立場としましては、特定の民間事業者や特定の業種に限定した店舗を直接設置・運営することは、公平性や採算性の観点から慎重な判断を要します。</p> <p>しかしながら、民間事業者や起業を志す方が、空き家を活用してこうした魅力的な事業を展開される場合には、町としても既存の施策を最大限に活用し、物件選定の支援や補助金の適用など、伴走型の支援を積極的に検討してまいります。</p> <p>また、ご指摘いただいた「当町の豊かな自然をフオスポットとして活用する」という視点は、景観資源に新たな価値を与えるものです。今後の観光振興施策のなかで、活用の可能性を検討させていただきます。</p> <p>いただいたご提言は、多様な世代が魅力を感じて集う「まちづくり」の参考とさせていただきます。</p> <p>今後とも、町政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
--	---

No.3

月 日	3月15日
提案・意見	<p>大きめの本屋さんを小野タウンコムコム辺りに欲しい こまち書店みたいな感じの本屋さんが欲しい</p>
町からの回答	<p>この度はご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>現在、小野町には本屋がなく、本屋に行くためには田村市や郡山市等まで出かける必要があります。ご意見のとおり、町内に本屋があれば便利になりますので、今後の本屋の出店については、商工会やコムコムなど関係各所へ働きかけを行っていきたいと思います。</p> <p>なお、小野町ふるさと文化の館・図書館でも、書籍や雑誌などを幅広く揃えておりますので、ぜひ、ご利用ください。</p>